

よりそう

Side by Side



4/24(土) 9/15(日)に大相町の小金神社でお祭り(土・外5時イ中宮祭、日・午前10時復興祈願祭)が開催されます。行ける方は是非!

フィリピンから届け!

JICA (国際協力機構) フィリピン事務所
横田千映子 (フィリピン・マニラ在住)



3月11日の大震災は、日本から離れたフィリピンでも多くの人々が衝撃を受けました。フィリピンと日本のつながりは深く、民間企業や政府だけでなく、多くの人々の交流もあります。日本に住む家族、親戚や友人を持つフィリピンの人も多いです。

「大変な思いをしている日本の友人たちのために何かしたい、少しでも助けになりたい。」そういう思いを持ったのは、フィリピンに住む私たち日本人だけでなく、多くのフィリピンの人たちでした。

私たちはフィリピンの友人たちと共に、マニラのオフィスビル、教会、マーケット、日本へのチャリティコンサート、チャリティマラソンなどで募金活動を行いました。「日本の人々のために何かしたかったけど方法が分からなかった。今日募金ができてよかった」通りすがる多くの人たちがそう言って、現地の水準では大金と思われる金額をどんどんと募金箱に入れてくれました。そして、その場で多くの温かいメッセージをバナーに頂きました。



「いつも日本に助けられているから、今度は自分たちの番だ!日本の技術や国力は素晴らしいと尊敬する国だ、絶対に立ち直れる!」

応援してくれた一人、前南レイテ州知事、ロセッタ・ラリアスさんは家族で駆けつけてくれました。「レイテ州は台風が多い。大雨や地震による地滑りで多くの人々が犠牲になった事象に対し、日本から多くの支援をもらってきた。だから今、私たちにできることをしたい。」

日本のNGOが長年支援してきたスラム地域では、貧しい人たちが自身で日本へのメッセージと寄付金を募ってくれました。このような活動がフィリピン各地のみならず、世界各地でなされたと聞きます。

日本がしてきたことが役に立って感謝されている、その恩返しという気持ちがフィリピンの人たちを動かしている。そのことに一人の日本人とし感謝し、誇りに思うと同時に、これからもそう思ってもらえる日本であるために努力をしなければ、と身が引き締められました。



(9月20日 遠野にてご寄稿いただきました)

4/22(木) ボランティアミーティング 15PM 5:30~ @ 体育館

9/21(水) 宿泊 178人 治療 84人

4/22(木) 天気くもソ一時雨 大雨警報 強風・雷・洪水・濃霧 注意 気温 15~20℃ 降水確率 70%